

令和7年度おすすめ 人権教育・啓発用 DVD の紹介

あなたのいる庭 (35分)

企画：兵庫県

阪神・淡路大震災で夫と幼い娘を亡くした主人公・和佳奈の心の拠り所は、花や野菜を育てること。だがある日、大切に育てていたトマトの芽を何者かに踏みつけられていました。誤って庭に入ってしまったと謝罪に訪れたのは、児童養護施設で暮らす実結と怜央でした。和佳奈は謝罪を突き放しましたが、その後、実結と互いに心を通わせていきます。

次代の社会を担う子どもたちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていかなければなりません。「子どもの人権」について改めて考え、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現について考えることのできる作品です。



みんな笑顔になる日まで (30分)



主人公は、若年性認知症の父親をもつ中学生。仕事に追われる母親の代わりに家事や妹の世話を担い、勉強する時間も睡眠時間もとれないほど負担を強いられていました。それと同時に父親も社会からのつながりから外れてしまい、自己の存在意義を見出せず辛い思いをしていることを告白します。

「ヤングケアラー」と「若年性認知症」について、支援を必要としている人々のことを正しく理解し、どのように関わっていくかを考えることのできる作品です。

聴く力～相手を想う 傾聴コミュニケーション～ (23分)

変装した社長が、「障がい者」「外国人」「LGBTQ+」「部落差別」「ジェンダー」といった人権課題をテーマに、異なる想いや悩みを抱える人々に気づき、相手の声に耳を傾けることの重要性を示します。自身の言動が誰かを傷つけないために、働く仲間の互いを尊重し、相手の心の声を聴くこと。職場における「聴く力」を育むことをめざしたドラマ形式の作品です。



ティーンのための SNS 教室 ～いつも心に情報モラルを～ (24分)



誤った SNS の利用によってトラブルに巻き込まれる生徒たちの事例がドラマ形式で描かれています。「誹謗中傷」「出会いの危険」というテーマが取り上げられています。ドラマの事例からどのようにしてトラブルを避けるのかを考え、視聴者が情報モラルを身につけることをねらいとした作品です。

ええことするのは、ええもんや！ (14分)

学校からの帰り道。主人公は車いすに乗って動けなくなっているおっちゃんを押してあげることになり、道行く人にほめられ得意げになります。でも、誰にも会わなくなったら「何でこんなことしてるんやろ？」という気持ちが沸き上がり……。

「相手を思いやる心とは?」「ボランティアって誰のためにするの?」「友情って何だろう?」そんなことを考え話し合うための作品です。

